

■欧州：欧州委員会、2020年以降の再エネ政策の検討を開始

欧州委員会は2011年12月6日、再生可能エネルギーに関する2020年以降のEU政策について、コンサルテーション（パブリックコメントの募集）を開始した。EUでは現在、2020年までの最終エネルギー消費に占める再エネのシェアを20%へ引き上げる目標を掲げ、加盟各国に法的拘束力を持った個別目標を義務として課している。今回のコンサルテーションでは、2020年以降の再エネ導入目標設置の是非、普及促進策の在り方、加盟国間の協調体制などについて、利害関係者などから幅広く意見を募るものである。意見募集は2012年2月7日まで実施され、その後、欧州委員会は2012年前半にも、2020年以降の再エネ政策に関する政策文書を準備する計画である。